

事務事業名		障がい者ライブラリー事業		目標設定日	平成28年3月1日
				部・局	教育委員会
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	図書館
	政策	02	社会教育・生涯学習の充実	係	
	施策	01	社会教育・生涯学習の充実	内線電話	8005
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	4目	図書館費	平成28年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	図書館利用に障がいのある市民	障がい者向けの資料の収集・整備・提供を進め、図書館利用が困難な人にも開かれた図書館を目指す。	
現状・課題	平成28年4月から施行される「障害者差別解消法」に伴い、障がい者サービスの充実を図る中で適切なサービス提供を進められるかが課題となる。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	障害者差別解消法	
事務事業概要	障がいのある方が、図書館を利用する。		
平成28年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	対面朗読サービス		25回
	点字図書の作成・貸出		20冊
	声の図書館CD（録音図書）の作成・貸出		20枚

事務インプット	項目		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	予算額	当初予算	円			
補正予算		円				-
合計		円		0	0	200,000
決算（見込）額 A			円			-
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	H27は予算額 一般財源	円		0	0	200,000
職員数	正規職員	人				0.38
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		0	0	2,512,180
総事業費 A+B			円			2,712,180
市民1人当たりコスト			円			62

成果指標 アウトカム		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
障がい者サービスの利用者	目標		人		人	10	人
	成果		人		人	-	
	目標						
	成果					-	
成果指標と目標値の設定理由	事業の周知により利用者増につなげていく。						

平成28年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	障がい者の利用向上につながる資料収集に努める。						

